

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | |
|-------------|--|-----------|----|----------------------|
| ①対象者 | 2014年1月1日～2021年7月31日の間に、非機能性膵神経内分泌腫瘍のうち、切除を行いHOPE検体を採取した患者さん | | | |
| ②研究課題名 | 非機能性膵神経内分泌腫瘍の蛍光イメージングを目指した腫瘍特異的酵素の探索 | | | |
| ③実施予定期間 | 倫理審査委員会承認日～2027年3月 | | | |
| ④実施機関 | 静岡県立静岡がんセンター | | | |
| ⑤研究代表者 | 氏名 | 蘆田 良 | 所属 | 静岡県立静岡がんセンター 肝胆膵外科 |
| ⑥当院の研究代表者 | 氏名 | 同上 | 所属 | |
| ⑦使用する検体・データ | 電子カルテ情報、HOPE データ、保存された切除検体 | | | |
| ⑧他機関への提供 | 有（国名、機関名、試料・データ名） 無 | | | |
| ⑨提供先の責任者 | 氏名 | | 所属 | |
| ⑩目的 | 近年、腫瘍特異的な蛍光イメージングを行う蛍光ガイド手術が過不足のない確実に安全な手術のために研究されています。これを実現するため、腫瘍特異的に発現した酵素活性に反応する蛍光プローブという有機化合物を用いる方法があります。今回の研究の目的は、非機能性膵神経内分泌腫瘍において、蛍光プローブの標的となる酵素を探索することです。 | | | |
| ⑪方法 | 当院で2014年1月より行っている、がん種横断的マルチオミクス解析（プロジェクトHOPE）のデータから蛍光プローブの標的酵素となりうる遺伝子発現データを網羅的にリストアップし、腫瘍部で非腫瘍部より高発現している酵素の探索を行います。同定できたら、当該遺伝子のタンパク質が発現しているかを保存検体において免疫組織化学染色で確認します。 | | | |
| ⑫倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2026年4月2日 | | |
| ⑬公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑭プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。 | | | |
| ⑮知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。 | | | |
| ⑯利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑰資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | |
| ⑱問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線3379） |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。